

森林やまがた

No.11

1998 2月



初市(山形市)

今から400年ほど前の最上義光の時代からその年の商売繁盛を祈る初市は今もにぎやかに継承されている。

団子木、うす、杵、梯子などが売り出され、毎年10万人を超える人出でにぎわっている。

目次

初市(山形市)	1	山のみぐみ(立川町)	8
山の幸倶楽部の設立	2	山形の木の文化	8
緑化木の手入れ	3	きのこ料理	9
燻煙乾燥間伐材を使った 野外ステージ	4	木材供給低コスト総合対策事業	10
木材情報ホームページ開設	5	林業試験場からのお知らせ	11
特用林産産地振興施設事業	6	「緑のやまがた」コーナー	12, 13
二十二世紀を目指した 森林づくり	7		

山の幸倶楽部の設立
― 特用林産婦人リーダーの活動状況 ―

◆女性にぴったりの職業

特用林産物は、山菜・きのこ等その種類は極めて多く、有効な産業の乏しい山間地域における農林家の複合経営の作目として重要な役割を果たしています。

特用林産物の生産に当たっては、担い手の多くは女性であり、また、女性のきめこまかなセンスをいかせる部門が多いことから、今後、さらに女性の発想を活かした多角的な経営の展開が可能と考えられます。

このため、特用林産物の生産から経営管理まで精通した女性リーダーを育成し、地域の特色を活かした生産振興により、農林家の所得向上と地域の活性化



講義に聞きいるリーダーたち

を図ることを目指し、平成七年度から県内の各地より推薦された十名を対象に三年間のリーダー研修を行ってきました。また、この取り組みは県新総合発展計画にある女性の能力の発揮の項目を林業部門で担当しているものであります。

◆これまでの活動内容

生産者及び主婦という二つの顔を持ち多忙を極める中、県内外数十カ所にわたる視察研修の

ほか、林業試験場での学習会、林業改良指導員及びグループ間の交流会などを行っており、多くの成果が蓄積されております。

リーダーの活躍は、広範にわたり、五グループが事業を導入し生産拡大を図るなど、地域の女性活動の中心的役割を果たしているほか、関連行事での講演やきのこ料理コンクールでの知事賞の受賞など、その活躍は県広報誌でも紹介されております。

また、全県の女性生産者のネットワーク「山の幸倶楽部」を結成し、共同の取り組みや連携の強化を目指すなど、今後の活躍が期待されております。

本年三月には三年間の取りまとめ研修を実施し終了しますが、林業部門での女性の役割は、今後ますます重要になってくると思われ、リーダー相互に連携して地域の活性化を図っていくこ

とにしております。

◆リーダーの紹介

- 日詰智恵さん (山辺町・わさび等)
 - 齋藤聡子、今田香代子さん (河北町・原木しいたけ等)
 - 伊藤利子さん (尾花沢市・原木なめこ等)
 - 藤山うめこさん (真室川町・うど、山菜等)
 - 栗田キエ子さん (金山町・たらのめ等)
 - 鈴木さくさん (川西町・うど、山菜等)
 - 山口泰子さん (飯豊町・原木なめこ等)
 - 佐藤美智子さん (平田町・菌床しいたけ等)
 - 須田洋子さん (平田町 菌床なめこ)
- 山の幸倶楽部のお問い合わせは、事務局の林政課林産振興係までお寄せ下さい。(県林政課)

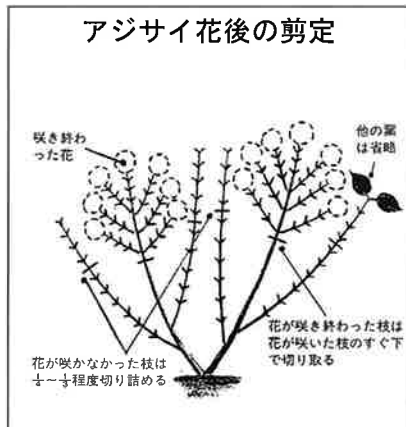
緑化木の手入れ十二月月一 緑化樹の剪定 その3



一月号では、一般家庭の庭に植えられている代表的な中高木の整枝剪定を書きました。今回は低木類の剪定をしてみました。庭の要所要所で。低木類は、自然の雰囲気を持たす大切な役目をはたすものです。適切な大きさを保ち、毎年花が見られるように剪定をしましょう。

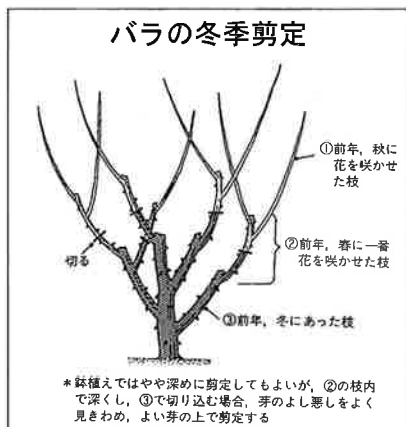
一、サツキツツジ類

サツキ・ツツジ類は、花が終わったらずくに刈り込みをします。花殻が付いているのをとるように、花後直ちに刈り込んで下さい。そうすると結実が抑えられ、充実した枝が伸びて次の年も花が咲きます。花芽は七月頃、生長の止まった本年生の枝の先に付きます。刈り込みの時



期が遅れると、花芽分化の時期に枝の生長が止まらず、花芽が付きません。花芽ができてから強く刈り込むと、つぼみをとってしまうことになります。伸びすぎた枝をとる程度にとどめましょう。

ミツバツツジ、レンゲツツジなどの落葉性のツツジは、樹勢もそれほど強くないので剪定せず自然の樹形を楽しんで下さい。



二、アジサイ

アジサイの剪定も花が終わった直後に行います。花が咲いた枝は、花が咲いた枝のすぐ下で切ります。花が咲かなかった枝は、伸びすぎていけば上部三分の一くらいを剪定します。このとき深く切りつめると徒長枝が出てしまい、花芽が付きにくくなります。花後の剪定により新梢が伸び、九月頃その新梢の上部に花芽が着きます。アジサイの花が咲かないという相談がよくありますが、ほとんどは強剪定が原因です。

三、バラ（大輪系）

バラの剪定は三月上旬、寒さがゆるみ、芽が動き出す前に行います。バラの冬季剪定は、思い切って剪定することが大切です。全体の半分位に切りつめます。充実した芽で、株の外に向いている芽の上で切ります。ふところ枝や細い枝も剪定し、太い枝だけ残します。また根元から勢いよく伸びた枝（シュート）も残します。花は新梢の先に咲きますので、充実した花枝を出させることが、立派な花を咲かせる秘訣です。

（杜山形県緑化センター）

アジサイは放っておくと枝が混みすぎます。雪囲いはずすときに間引き剪定をして下さい。花芽のできない細い枝や古い枝を根元から切ります。この時、残した枝の枝先を切りつめてはいけません。

燻煙乾燥間伐材を使った野外ステージ

鶴岡市八森山レクリエーション広場

平成八年度における、当県の間伐率、間伐材の利用率は、それぞれ十八%、二十二%と全国平均を大きく下回っています。これは、近年の材価の低迷による施業意欲の低下によるものと考えられます。この対策として県では、間伐事業の補助対象の拡大と、新たな間伐材の需要の掘り起こしを計画しています。間伐材のPRのため、今年度流域総合間伐対策事業により間伐材利用モデル施設が完成しましたので紹介します。



間伐材を使った楽しい施設

八森山レクリエーション広場は鶴岡市の中心部から南へ車で三十分の位置にあり、パラグライダー、スキー場のアウトドアスポーツの拠点、遠足、野外コ

ンサート等のイベント会場として利用され、利用者の総数は平成八年度で年間四千人を越えています。とりわけ、地元と「三瀬を創造する会」が主催の『八文字焼』は県内外から多数の参加者があり、当日は地元住民と参加者で賑わいます。その広場に、利用者の利便性向上と間伐材の宣伝を兼ねて燻煙乾燥処理を施した地元産のSGI間伐材で作成した多目的展望台、野外ステージ、ベンチ、テ

ブル、ロープクライミング遊具、炊事棟等を設置しました。平成十年度には、オープニングセレモニーとして野外コンサート及び地元小学生によるキャンプを開催し、完成を祝う予定です。今回使用した燻煙乾燥材とは耳慣れない言葉ですが、木材乾燥技術の一つで処理施設の中に丸太や製材品を入れ、廃材を燃やしながら十二〜十四日間燻して仕上げるものです。その効果は多岐にわたりますが、特に煙りに含まれる成分フェノール(ナフタリンの原料)が防虫、防カビ作用を高めます。併せてJAS乾燥材であることから、材の割れや狂いも防止されます。このような優れた特徴を持ちながら普及がなかなか進んでいない状況の燻煙乾燥材を広く一般に広めるため導入しました。これにより広場を利用する家族

と想っています。昨年暮れには『間伐材需要拡大推進会議』を開催し、ソフト面からも間伐材、燻煙乾燥材の普及を行っています。今回は、ステージや遊具のため間伐材の使用量はごく僅かですが、今後河川工事等に間伐材を積極的に利用していくという国の方針が示されていることから、林業関係事業と併せ、河川工事等に利用されるよう普及していく予定です。



コンサート等が開催される野外ステージ

連れや若者が、木材に親しみをもつと同時に燻煙乾燥材の普及に弾みがつくもの

(県森林整備課)

木材情報ホームページ開設

山形県木材利用相談センター（山形県木材産業協同組合内）では、インターネットを利用した木材情報のホームページ〈YAMAGATA WOOD INFORMATION〉を開設しました。

従来は電話やFAXで情報収集等を行っていましたが、今後はインターネットも活用して様々な情報の収集、提供を行います。

ホームページの主な内容は、毎月県林政課で公表している、『木材需給関係資料』の、木材価格や新設住宅着工戸数、さらに最新の木材関係情報を提供していきたいと考えておりますので、ぜひ一度アクセスしてみてください。

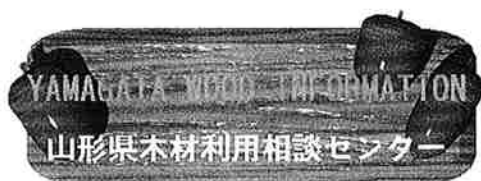
なお、紹介したい情報や、紹介してほしい情報などがありましたら、E-mailあるいは、FAX等で情報をお寄せ下さい。

〈URL〉 <http://www2s.biglobe.ne.jp/~yamawood/homepage.htm>

〈E-mail〉 yamawood@muj.biglobe.ne.jp

〈FAX〉 023-624-0804

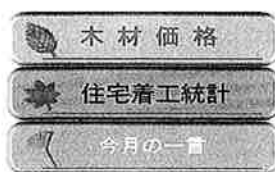
参考までにホームページの一部を下記に紹介します。



今月の名画館



ようこそ！このホームページでは山形県の木材・住宅に関する最新情報をご紹介します。



ここでは山形県農林水産部林政課で毎月調査集計を行っている、丸太価格（製材工場土場着価格）、製材価格（地場の大工・工務店向け、製材工場渡し価格）をご紹介します。

今回は11月10日現在の価格です。

丸太価格

	価格 (円/m)	※参考 1本当たり	前 月 比	同 月 比年
スギ小丸太 8~12cm*3.65~4.00m	16,700	639円/本	98	95
スギ中丸太 14~28cm*3.65~4.00m	22,300	3,762円/本	99	96
アカマツ中丸太 14~28cm*3.65~4.00m	17,300	2,918円/本	04	101
米ツガ 30cm以上*6m~	24,400	13,176円/本	96	96
北洋エゾマツ・ドマツ小丸太 8~12cm、3.8m~	20,300	771円/本	99	101
北洋エゾマツ・ドマツ中丸太 14cm~28cm、3.8m~	21,600	3,620円/本	100	102
北洋カラマツ中丸太 14cm~28cm、3.8m~	18,900	3,167円/本	99	97

(県林政課)

― 特用林産産地振興施設整備事業 ―

鮭川村の原木しいたけ

栽培施設整備

鮭川村は、県内最大のきのこ王国で生産量を見ると、えのきたけ、なめこ、まいたけが県内一位、ひらたけ三位、しいたけ五位となっております。これ

ら五品目を村では振興作目としており、今回、その中でも目標計画量に満たないしいたけを増産するため、国庫補助事業の、原木しいたけ栽培省力化モデル事業を導入しました。

原木しいたけ栽培は、昭和五九年から冬の農閑期に行われてきましたが、作業小屋を利用しているなど発生環境が悪く、所定の発生量が確保できない状況にありました。

これらのことから鮭川農協が事業主体となり、パイプハウス六棟、冷蔵施設四台、種菌接種機四台、加温機四台、運搬車八台、その他機械の施設整備を行



パイプハウス



原木しいたけ発生状況

い、農協と生産者との間での賃貸契約を結びながら施設を利用していくことにしています。今後、将来目標生産量五十六ト（現在の生産量三十六ト）を目指し、村では平成十年度も補助事業の導入による増産に向けた事業展開と併せ、消費拡大のPRをさらに強化することとしております。

（最上地方事務所林業振興課）



自動植菌機による作業

現地ルポ



二十世紀を目指した森林づくり
「源流の森」での森林づくり体験活動

◆未来を夢見て

西暦二〇九八年夏、私は初めて源流の森を訪れた。見渡す限りのブナ・スギの大樹海。それに抱かれて点在する高度木質建造物群。ここでは、人と森林とが見事に共存し、豊かな恵みを私たちに与えてくれている…。昨年オープンした源流の森では、そんな姿を夢みての森林づくり活動が行われています。

◆水源の森づくり

みんなで森に親しみ、森をつくる体験活動として、昨年「森林の学校」が四回開かれました。中でも、第三回目は『水源の森づくりに挑戦しよう』と題し、家族づれを中心とした参加者が、森の世界を探検したり、枝打ち



「森林の学校」フコギリ・鎌を手にして…

や除伐作業に悪戦苦闘しました。「雨の中疲れたけど思いがけず楽しかった」、「インタープリターの人の対応が暖かかった」とは参加者の談。

なお、初春には、雪中の自然に触れる「第五回森林の学校」が開かれる予定です。この機会に参加してみたいかがでしょうか。

◆一本の植樹から

施設の裏手にある森の一角に立木のない所があります。昨年秋、ここに「山形県緑を育てる女性の会」が、スギ・トチノキなどの苗木一本一本に未来への思いを込めて、源流の森では初めての植樹を行いました。女性の会では、当地を二十世紀を目ざした森づくりの実践の場として位置付け、今後、継続して保育活動を展開することとしていきます。自然との共生の試みのはじまりです。



「森林の学校」僕達のパワーで森よみがえれ!



「山形県緑を育てる女性の会」植付けはやさしくていい!

◆大きな輪に

森を思う心は、森を身近に感じた時、初めて芽ばえてくるものではないでしょうか。そのためにも、人と森との触れ合いの機会としての森づくり体験活動が継続し、それが森と人の心を豊かにし、やがて大きな輪になることを願っています。

西暦二〇九八年の夏を夢みて、これからも積極的に活動を展開していきますので、ご支援をよろしく願います。

(西置賜地方事務所林業振興課)



立川町は、山形県の北西、庄内平野の東南部に位置し、南東に霊峰月山、北に最上川が流れ、「風」をキーワードにまちづくりに取り組んでいます。

町では、平成七・八年度にモデル事業で、林業担い手の育成、安住化、交流促進を目的に、子供たちに遊びを通して木材の良さを体験できる施設として、大型木製遊具を備えた森林体験交流施設をつくりました。休日には、塔の高さ二十四呎の発電風車の下、町内外から多勢の親子連れが訪れ、木材の温かさや良



風車の下、木製遊具で遊ぶ親子連れ

また、隣りには小さな風車で蓄電したバッテリーカーもあり、大型木製遊具同様に子供たちに利用されています。

隣接の施設ウインドームでは、立川町のおみやげ品として、風をイメージし、羽根にハーブの香りを染み込ませてアロマセラピーをねらった木製風車「風車村に行ってきた」を販売しています。

おみやげ品の製作のように、木材の良さを色々なアイデアで製品化する人たちが町に現れることを期待しています。

(立川町農林課)



花紋燭の看板

鶴岡市の致道博物館収蔵庫に花紋燭絵(蠟燭)の看板が飾られている。この看板は天明六年(一七八六)に御用の二字と酒井家の紋をつけることを許された中村蠟燭店が寄贈したもので、巾約四〇cm、長さ約一五〇cm、厚さ約二cmのケヤキ材を用い、両面に黒漆で字が書かれており、絵蠟燭の特権的生産、販売を許されたときのものである。

蠟燭は、信仰上の儀式や生活



看板(致道博物館)

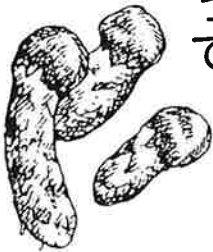
の採光に欠くことのできない灯火具で六世紀に仏教とともに中国から伝来したが、江戸時代はウルシやハゼの実の抽出油から木蠟が生産され原料として用いられた。鶴岡特産のものは花紋燭といい、庄内藩から幕府要人への贈答品として参勤交代のおりには必ず献上されたという。

看板は店の顔であり、昔から良材が使用されてきた。一般に使用されている樹種はヤマザクラ、ケヤキ、ホオノキ、カツラ、センノキ等で、その鮮やかな木色と木目が一層看板を引き立たせ、その効用が高められるものである。

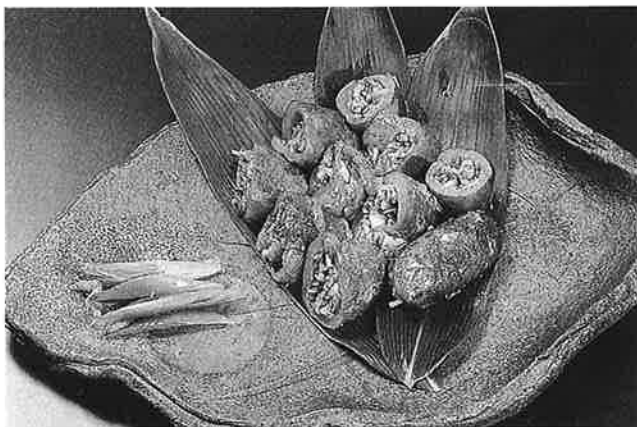
(県林政課)



ご家庭でぜひ味わって
みてください。



昨年度の山形県きのこコンクール
入賞作品を
シリーズで紹介します。



あけびのきのこづめ クルミソース

山形県きのこ振興会長賞
渡辺良子さん

◆材料4人分

- まいたけ(20g) ●生しいたけ(20g) ●本しめじ(20g) ●えのき(20g) ●あけび(100g位のを4個) ●ベーコン1枚
- 大葉6枚《クルミソース》 ●国産くるみ(20g) ●料理酒大さじ1 ●醤油大さじ1 ●味噌大さじ1 ●砂糖大さじ2 ●煮きりみりん

◆作り方

- ①あけびは中を取り、竹ぐしがずっと通る位にレンジにかける(5~6分位)。
- ②フライパンに油を少々しき、ベーコンからきのこ類を炒め砂糖、料理酒、みりん、味噌各大さじ1で下味をつけ炒める。
- ③あけびがさめたら、中に片栗粉をふり、下味をつけたきのこをつめる。あけび全体に片栗粉をつけ、フライパンに多めのサラダ油を入れ、口を下にして全体をころがしながら焼き、リードペーパーにとる。
- ④クルミソースは、くるみをすり鉢ですり、調味料を全部入れ、とろっとさせる。
- ⑤盛りつけは、あけびを二つに切り、大葉の上にもり、クルミソースをかけ、干切りにした大葉をちらす。

☆ポイント

あけびは若い人にも苦くなく食べられ、きのここと合わせることでよりヘルシーな料理になります。しその実、ささがきごぼうなど入れてみるのもよいでしょう。

北庄内地域材の安定供給と低コストを目指して

木材供給低コスト総合対策事業

「木材の安定供給の確保に関する特別措置法」に基づき、平成九年三月に庄内流域は木材の流通合理化を図るべき地域として指定を受けました。

「木材の安定供給の確保に関する北庄内地域では森林所有者、木材生産・加工業者、建築業者等が連携し、建築資材としての地域材の安定供給と低コスト生産を目指すために、平成九年度

酒田市と飽海郡の四町からなる北庄内地域では森林所有者、木材生産・加工業者、建築業者等が連携し、建築資材としての地域材の安定供給と低コスト生産を目指すために、平成九年度

木材供給低コスト総合対策事業の概要

低コストマスタープラン作成事業

- (事業主体：山形県)
- ・木材供給低コスト総合対策を適切に実施するための具体策を検討、協議
 - ・低コスト住宅資材標準化仕様書の作成

素材安定生産供給システム推進事業

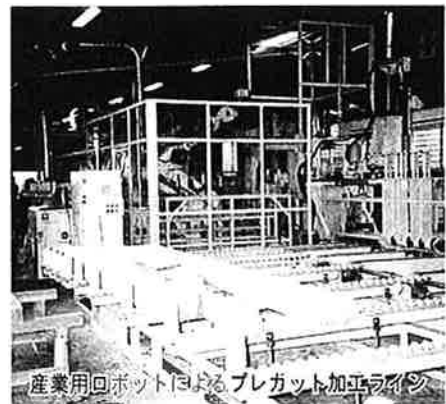
- (事業主体：平田森林組合)
- ・素材生産供給計画の策定及び啓発活動
 - ・葉枯らし材生産普及啓発活動

木材流通合理化整備特別対策事業 (補助率1/2)

- (事業主体：庄内木材加工協同組合)
- ◎プレカット加工施設の設置
 - ・木材流通体系の合理化

低コスト住宅資材普及啓発事業 (補助率1/2)

- (事業主体：庄内木材加工協同組合)
- ◎展示住宅の設置
 - ・林業、木材、木造住宅等の普及宣伝



事業」を実施しております。

そこで、ここでは「プレカット加工施設」と「展示住宅」について御紹介いたします。

◆プレカット加工施設

- ・所在地 八幡町法連寺地内
- ・事業費 一二四百万円
- ・機械の仕様 産業用ロボット
- ・の応用によるプレカット加工ライン(一日当たり二〇坪分の加工能力)
- ・取扱計画 年間に五〇坪の住宅一〇棟分の加工を計画
- ◆展示住宅



- ・所在地 酒田市古荒新田地内
- ・建築費 二六百万円(附属施設・外構工事含まず)
- ・構造・規格 木造在来工法住宅、床面積五二坪(一階三二坪、二階二〇坪) 6LDK、バリアフリー対応
- ・展示住宅は平成十年二月末に完成予定であり、中には林業・地域材のPR、インターネットによる住宅情報の提供コーナー等もありますので、皆様の御来場をお待ちしております。
- (庄内支庁 林業振興課)

表-1 混合比別培地組成

混合割合 広葉樹オガコ： スギオガコ	一玉当たりの培 地重量容積指数	栄養剤の添加量
100：0	750 g (100)	フスマ・コメヌ カ・コーンプラ ン 各25 g
75：25	750 g (110)	
50：50	750 g (124)	

※容積指数は、広葉樹オガコ100%を基準としたもの

の栄養剤混
合割合は
表-1のと
おりです。
種菌は、
試験場保
有の月山
1号と市販
菌の極早
生一系統で、

◆はじめに◆
近年、広葉樹オガコの入手が困難になっており、これに替わる新たな培地材料として、スギオガコをナメコ栽培に利用した試験を行なったので紹介します。
◆試験方法◆
培地基材は、三カ月間堆積散水処理したスギオガコで、基材

表-2 スギオガコ混合割合別発生量

混合割合	市販菌	保有菌
	g	g
広葉樹100%	181.3	178.9
広葉樹75%：スギ25%	185.3	186.5
広葉樹50%：スギ50%	195.3	187.9

このことから、スギオガコの混合割合が50%までであれば利用可能と判断されますが、今回の試験は収量のみ調査であり品質など未解明なことが多いため、スギオガコ利

培養や発生方法は、県内で通常行われている方法です。
◆試験結果と利用について◆
収量調査（二回取り）の結果は表-2のとおりで、スギオガコの混合割合が異なっても収量には大きな差がありません。

県立林業試験場からのお知らせ
**スギオガコを利用した
ナメコ栽培**

◆問題点◆
スギオガコは、広葉樹オガコに比べ比重が小さいので、広葉樹培地と同じ重量を袋詰めすると容積が大きくなり、殺菌釜や栽培棚に入れる数が少なくなることから、この課題を解決する必要があります。

用は、広葉樹オガコが入手困難な場合の培地補填材として位置づけた方が良いと思われます。



ナメコ袋栽培の培地

環境を守ろう 災害に強い県土を
良質な水の安定供給を
緑豊かな環境づくりを

森林を育てよう 山村の生活環境の整備を
森林の恵みの循環利用を

山形県森林土木建設業協会
会長 荒井 康之助
山形市桜町2-35(林業会館内)
電話 023(632)3893 FAX 023(632)5454

平成9年度間伐コンクール審査結果

順位	賞名	出展者氏名
最優秀	県知事賞	酒田市 小田重四郎
優秀	県森林組合連合会長賞	高島町(財)上和田協和会 理事長 石田 修一
優良	県林業改良普及協会賞	八幡町 佐藤 慶治
"	"	最上町 鈴木 良造
入選	県林業士会長賞	寒河江市 阿部 貞雄
"	"	山形市 佐藤 実
"	県林業グループ連絡協 議会長賞	寒河江市 太郎生産森林組合 組合長理事 秋葉 成之



剥皮して間伐木を販売している小田氏林分

間伐で活力ある森林を
平成9年度間伐コンクール
最優秀賞に酒田市の小田重四郎氏輝く

間伐コンクールは、林業経営の意欲の喚起と活力ある森林の育成をねらいとして、県林業改良普及協会と県林業グループ連絡協議会が主催して実施しているもので、地区予選で選ばれた美林七点が県の本選に出品されました。

この林分も本当に良く手入れされており、材価が低迷している中であつて、現状を憂いることなく長い目で熱心に山づくりに取り組んでいる方々が大勢いることに本当に心強く、またうれしく感じました。

出品林分は、二五年生く三三年生で、区域面積は〇・一八畝く

〇・八一畝とまちまちでした。

また、平均樹高は一二・八mく一九・四m、平均胸高直径は一七・八cmく二六・〇cmで、立木密度は畧当り換算で八〇〇本く一、九〇〇本でした。これは、山形県スギ林分収穫予想表に照らして見ると一林分を除き、予想表とほぼ同数かそれを下回っており、適正な本数管理と思われれます。

選木状況は、胸高直径の標準偏差値によってバラ付きをみたところ一・五六く四・四八で各林分もよく揃っていました。

また、形状比は、六四・〇く七八・四とがちりした形に育っており、どの林分も繰り返し間伐を行うなど熱心に手入れをされて来たことがよく分かります。

このように本当にきれいに手入れされている林分に順位をつ



間伐木を薪にするための棚積をしている(最上町)

けることは大変難しいことですが、審査委員一同慎重に審査し、別表のとおり決定させていただきました。

出品いただきました森林所有者には、今後も活力ある森林の育成のため一層ご精進をお願い申し上げますとともにこのように優れた育林技術を地域に広く普及して下さることを是非お願いしたいと思います。(県林業グループ連絡協議会)

林業士として

遊佐町 林業士 菅原啓二

私の山は、鳥海山の登山道（鳥海ブルーライン）に沿ったほぼ平坦なところにあります。十畝の所有林のうち、一部はクロマツですが出来るだけスギを考えてほぼ100%植林を完了させております。

庄内平野の北端に位置するだけに、昭和五十年頃までは稲杭の需要もありましたし、吹雪で有名な庄内だけに雪囲いの長木丸太も良く売れました。そのような状況なので除伐や間伐も無駄なく出来たようです。成長の良いところでは一生のうちに三回も伐れたという超短伐期林業でした。

また、庄内平野の末端でもあったので田圃や畑も少なかった

わけで、伐採跡地を焼畑にして三年位づつ貸し付け、農作業や植林に面接によって何日間というように無償で手傳いをさせていたようです。したがって、造林は苗木の他はほとんどただで出来たので短伐期が進んだのではないかと思えます。

さらに、私どもの山は海岸から五畧位の中にあり、降れば湿気の多い重い雪ですので曲げられる可能性ががあります。しかし、一冬に一度か二度位なので少し注意すればあまり根曲りも出さずに育てられます。木造船の時代に造船所から龍骨（あばら）材の注文があつて大変苦勞して集めた事が思い出されます。

以上、どれをとつても残念な

がら夢のような話になつてしまひ、最近はずっと一八〇度考えを変えなければ、山林は育てられないのが現実です。

そこで、いろいろ模索してるところですが、好むと好まざるところにかかわらず、長伐期を考へざるを得ないのでと施業しておりますが、最も長いので戦後に植林したもので五十年位しかなつておりません。しかし、自分が植えて育てて来たと思うと頼もしくも感じられ良く眺めに行き楽しんで居ります。

今後二十年、三十年と私が続くかぎり択伐や複層林等も考へ



ながら、是非残して行きたいものだと思ひ、それが私の生涯林業に掛つて来た記念になるものと大事に育てて行きたいと思つて居ります。

先輩の方々の勧めもありまして林業士にさせて頂いて早くも十五年になります。多くの現場を視させて頂きましたし、お陰で他の方よりは幾らかは育林の理論について身につけたものと思ひ、自負している次第です。そんな立場で地域の林業を見ますとほとんど勿体ないような林ばかり目に付きます。交通や地形上作業はし易いところと申し上げましたが、一方海岸に近いために季節風がもろに当ります。

「百聞は一見に如かず」とあります。良い林、良い樹を見て眞似され一人でも多くの愛林家が生れるよう、展示林や見本の造成に頑張つて居るところです。

うるおいあるふるさとづくり



もり
森林・人・未来

もり
森林の鼓動が聞こえますか...

森林を守り育てる「林業従事者」の育成と確保を目指して

財団法人**山形県林業従事者育成基金**

☎990-8570 山形市松波二丁目8番1号 山形県林政課内
電話(023)630-2523(直通) F A X(023)630-2238(林政課内)

——全国食用きのこ種菌協会会員——

〒999-77
山形県東田川郡余目町払田字村東17-2



株式会社
河村式種菌研究所

お問い合わせは 電話 0234~(42)1122(代)
青森県営業所 青森県三戸町同心町
電話(0179)23-3582

きのこ 作りなら。

◎形質を誇る!

○しいたけ・なめこ

ひらたけ・まいたけ・ぶなほりたけ
くりたけ・たもぎたけ・むきたけ
その他きのこ種菌

(12月10日現在)

素材	樹材種	材長		品等	1m ³ 当り価格	前月比較	
	スギ小丸太	3.65~4.00m			込	16,700円	±0円
スギ中丸太	"			"	21,800円	-500円	
マツ中丸太	"			"	17,000円	-300円	
米ツガ (セミカスケード)	6.0m上			普通材	25,500円	+1,100円	
エゾマツ小丸太	定尺			"	20,500円	+200円	
エゾマツ中丸太	定尺			"	21,800円	+200円	
製品	樹材種	厚	幅	長	品等	1m ³ 当り価格	前月比較
	スギ母屋	10.5cm	10.5cm	3.65~4.00m	特等	61,100円	+1,000円
	エゾマツ野縁	3.6cm	3.6cm	3.80~4.00m	"	63,300円	+3,800円



木材市況

森林やまがた 2月号 平成10年2月1日発行 通巻第11号

編集 山形県林業改良普及協会 山形県

発行 山形県林業改良普及協会

〒990 山形市桜町2-35 林業会館内

☎023-622-8823 FAX023-633-8506

印刷所 大場源太郎印刷所 定価 一部三〇円